

これからの在宅医療ガイド ―我々は被災地から何を学んだか―

(復興枠大島班最終年度成果物として H27 刊行予定)

内容要旨

被災地を含む全国で、在宅医療を困難にしている実態を明らかにし、阻害要因を分析、
解決手段の提示と在宅医療連携拠点事業の実地評価を

行政、医師など多職種教育指導に活かす、在宅医療構築普及マニュアル

内容

はじめに

大島伸一

序論

1) 超高齢社会の現状とパラダイムの変換の必要性

治す医療から治し支える医療へ

大島伸一

2) 在宅医療の現状と課題 (全国規模での俯瞰)

辻 哲夫 研究 3

3) 本ガイドの利用方法

鳥羽研二 研究 1

I 在宅医療は患者家族にとっていいものか？

1) 在宅医療のエビデンス

秋下雅弘 研究 1

2) 在宅医療の QOL 指標の開発、試用

葛谷雅文 研究 1

3) みとりを行ってきた先達者 ①

黒岩卓夫 (H24/25)

4) みとりを行ってきた先達者 ②

平原佐斗司 研究 3

5) 大学病院の専門医師が在宅へ乗り込む

堀江重郎 研究 1

6) 家族の不安と対応

平原佐斗司 研究 3

7) 独居でも可能か

川島孝一郎 研究 2

II 在宅医療の現状と阻害要因、その解決への糸口

1) 地域格差と地域診断

太田秀樹 研究 3

2) 地域全体の課題

宮城県

川島孝一郎 研究 2

青森県

蘆野吉和 研究 2 (H24/25)

千葉県

横手幸太郎 研究 1

大阪府

楽木宏実 研究 1

3) 僻地における課題

広島県

服部文子 研究 1

4) 被災地の課題

被災地の地域医療の現状

三浦久幸 研究 2

在宅医療 (石巻)

武藤真祐 研究 2

在宅医療 (釜石)

寺田尚弘 研究 2 (H24/25)

仮設住宅

冲永壮治 研究 2

離島

栗田主一 研究 2

居宅介護支援事業所

菊地和則 研究 2

居宅介護支援センター	三澤仁平	研究 2
在宅歯科診療	大石善也	研究 2 (H24/25)
街づくり	近藤尚己	研究 2
気仙沼の調査	高橋龍太郎	研究 2
高齢者における被災後の状況への適応	大塚理加	研究 2

5) 阻害要因としての老年症候群

認知症	神崎恒一	研究 1
排尿障害	後藤百万	研究 3
難聴	杉浦彩子	研究 1
視力障害	福岡秀記	研究 1
低栄養	金子康彦	研究 1
褥瘡	古田勝経	研究 1
閉じこもり	山崎幸子	研究 2

6) 阻害要因；ベッド確保、病床連携

急性期病院との連携	楽木宏実	研究 1
急性期から慢性期病院へ	武久洋三	研究 3
老健施設とリハビリテーション	大河内二郎	研究 3
在宅療養支援病棟	三浦久幸	研究 2

7) 阻害要因；医療サービス

訪問看護	百瀬由美子	研究 3
訪問リハビリ	園原和樹	研究 1

8) みとりの阻害要因、事例検討から

和田忠志 研究 3

9) 阻害要因；医療関係者の意識と教育

医師	辻 哲夫	研究 3
学生（国内）	荒井秀典	研究 1
学生（海外）	橋本正良	研究 1
多職種	飯島勝矢	研究 1
行政	三浦久幸	研究 2

III 在宅医療の全国展開

1) 行政の立場から（案）	佐々木昌弘	在宅医療推進室長
2) 日本医師会の立場から（案）	鈴木邦彦	常任理事
3) 在宅医療実地踏査指導	三浦久幸	研究 2
4) モニターと実地指導の効果（前後比較）	大島浩子	研究 3
5) 在宅医療連携拠点事業終了後の追跡調査	大島浩子	研究 3
6) 在宅医療展開の提言（編集後記）	鳥羽研二	研究 1